

## 総務厚生常任委員長報告

審査日	令和6年6月10日
出席委員	金子 恵 堤 理志 下町純子 藤田明美 岡田義晴 八木亮三 西田 健 西岡克之
説明員	関係所管管理職並びに職員

### 議案第38号 令和6年度長与町一般会計補正予算（第2号）

#### 【提案理由・主な内容】

総務部総務課では、被爆遺構の説明板作成のため22万5千円を計上。

契約管財課では、長与駅駅舎維持補修委託料として令和6年度実施分840万円を計上。

地域安全課では、チェーンソー隊設立に係る経費として165万円。また、防災行政無線操作卓更新業務委託料として1,592万8千円を計上。

情報政策課では、システム改修業務委託料として124万9千円を計上。

企画財政部政策企画課では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金3,100万円を増額計上。また、結婚新生活支援補助金として810万円を計上。

財政課では、今回の補正予算に係る財源調整として財政調整基金繰入金1億8,681万6千円を計上。

住民福祉部住民環境課では、当初予算に計上していた太陽光発電設備等の設置助成事業に対する県補助金の追加交付分913万9千円を増額計上。

福祉課では、福祉介護職員の処遇改善に伴い、障害自立支援給付費審査システムの改修等に係る経費に対する国の補助金を計上。

こども政策課では、子育てを行う多子世帯の経済的負担の軽減を図るため、生計を一にする子の年長者からカウントして第三子以降の保育料を無償化する。また、医療的ケア児等訪問型レスパイト事業の利用時間の拡充を行うための事業費補助金を計上。

健康保険部健康保険課では、新型コロナウイルスワクチンの副反応による健康被害への給付金及びそれに対する国庫負担金を計上。

議会事務局では、議会運営の効率化を目的に、タブレット端末導入、運用に係る必要経費を計上。

以上の説明があった。

#### 【主な質疑】

## 総務部

(地域安全課)

質疑：チェーンソー隊とはどのようなものか。また、目的は何か。

答弁：消防団の力向上モデル事業に応募し、長崎県内で長与町のみが採用された事業。団長、副団長3名、本部分団を除く各分団から2名、合計21名で活動する。今までも災害時など、個人所有のチェーンソーを用いて倒れた樹木などの伐採を行っていた。今後は消防団活動の中で継続していきたいと考えている。

総務課、契約管財課、情報政策課は特記すべき質疑はなかった。

## 企画財政部

(政策企画課)

質疑：結婚新生活支援補助金の近隣市町との比較は。

答弁：結婚新生活支援事業は、令和5年4月1日現在、県内では9市3町が導入。国の制度は39歳以下が30万円、29歳以下が60万円で、若い人に手厚い補助となっている。これは、少子化対策として国の制度を活用するため年齢制限がある。本町においては、今年度、一律10万円で多くの世帯に支給する。

質疑：この補助金は何に使えるのか。

答弁：町内に居住するための住宅購入費、住宅リフォーム費、住宅賃借費、これは、賃料、敷金、礼金、共益費、仲介手数料、及び引っ越し業者などに支払う引っ越し費用となる。

財政課では特記すべき質疑はなかった。

## 住民福祉部

(こども政策課)

質疑：レスパイト事業費補助金が増額になっている。医療的ケア児に対する看護体制が確認できたということか。

答弁：対応できる事業者がいたことで時間数を延ばした。

質疑：産後ケア委託料の対象人数は。

答弁：令和6年度はショートステイ6名、デイケア125名を見込んでいる。

(住民環境課)

質疑：脱炭素化重点対策加速化事業補助金が増額理由は何か。

答弁：県の追加交付の募集に対し、本町の追加要望分の交付決定を受けた。

福祉課では特記すべき質疑はなかった。

## 健康保険部

健康保険課では特記すべき質疑はなかった。

## 議会事務局

(議事課)

質疑：タブレット購入は一般競争入札になるのか。

答弁：一般競争入札が考えられるが、共同調達などを含め他の方法も検討したい。

慎重に審査した結果、全会一致で可決すべきものと決した。